

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成30年 05月 11日

事務事業名	乳用牛群検定推進支援事業				担当	産業部 農政課 園芸畜産係				
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名					
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H10 年度~)				
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	5.畜産業費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度~ 年度)				
事業概要	乳用牛群検定は、牛の乳量、乳成分、繁殖成績などのデータをとり、集計分析を行い、この検定結果に基づき、牛の飼養管理の改善をするものである。この検定を受けることにより、効率的生産を促進し、酪農家の経営安定を図っている。検定費用は、均等割、頭数割により算出し、組合員負担分の5%を補助している。									

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 29年度実績 ・補助金交付事務 11,350頭分の検定補助	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
ア:補助金額	千円	237	156	151	150	220	
イ:							
ウ:							
エ:							
オ:							
30年度計画 ・H29年度同様							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・真岡市酪農組合	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア:乳牛頭数	頭	1,786	1,317	1,252	1,146	1,115	
イ:酪農家数	戸	35	35	34	32	30	
ウ:							
エ:							
オ:							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・受検頭数の増加を支援し、生乳生産の安定化を推進する。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア:実施頭数	頭	10,217	9,312	9,176	9,168	9,650	
イ:検定実施酪農家数	戸	22	21	20	20	17	
ウ:							
エ:							
オ:							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・畜産物の効率的生産の促進を図る。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア:検定実施率	%	48	59	61	67	72	
イ:検定実施組合員率	%	63	60	59	63	57	
ウ:生乳生産量	t	9,973	9,847	9,775	9,666	9,697	
エ:							
オ:							
(2) 総事業費の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	237	156	151	150
		事業費計(A)	千円	237	156	151	150
人 件 費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	16	16	16	16
		人件費計(B)	千円	68	67	66	66
	トータルコスト(A)+(B)	千円	305	223	217	216	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	牛群改良をして、効率的生産を促進し、酪農経営の安定を図るため導入した。						
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	畜産経営は、肥料及び配合飼料の価格高騰により厳しさを増している。						
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 牛群検定を実施し畜産物の効率的生産を図ることは、畜産農家の経営安定につながり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 畜産物の効率的生産を促進し、畜産農家の経営安定を図ることは、重要なことであり、公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全ての酪農組合員を対象に乳用牛群検定事業を支援することは、生乳生産の安定化につながり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 検定を希望する全ての組合員に対し実施できており、畜産物の効率的生産が図られるので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 牛群検定事業を廃止することは、畜産物の効率的生産の促進に支障をきたすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の経費であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で組合員も応分の負担をしており、公正公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評議会議で指摘された事項		
(4) その他2次評議会議で指摘された事項		